

# ★ここが知りたい！★ 米沢市立病院紹介 ◎ ☆<sup>しんぞうけっかんげか</sup>心臓血管外科編☆

今回は、心臓血管外科の診療について、平成22年10月に福島県立医科大学から常勤医師として赴任された心臓血管外科長の佐藤洋一医師（写真：右）にお話を聞いてみましょう。



**Q** 心臓血管外科では、どんな病気を治療するのですか？

**A** 当科で手術を行う心臓の病気は次のとおりです。弁が悪くなって心臓に負担がかかる弁膜症、心臓がバラバラに動き脳梗塞や心不全の可能性のある不整脈、心臓の筋肉に十分血液が流れず胸痛発作を伴う狭心症や心筋梗塞などです。血管の病気は次のとおりです。足の静脈がポコポコに浮き出て太くなる下肢静脈瘤、足の動脈の血流が不足する閉塞性動脈硬化症、大動脈が瘤状に膨れて破裂の危険性がある大動脈瘤、突然大動脈の壁が裂ける急性大動脈解離などです。

**Q** 心臓血管外科で行っている手術について教えてください。

**A** 当科では、からだに優しい手術を目指しており、狭心症や心筋梗塞に行う冠動脈バイパス術は、天皇陛下の手術同様、心臓を止めずに行っています。また、大動脈瘤の手術は、胸やお腹を大きく切らずに股の動脈から人工血管にバネがついているステントグラフトを瘤のところまで運んでひろげる方法で、翌日から歩行や食事ができます。下肢静脈瘤のレーザー治療も当院でできるように現在準備中です。12月8日(土)の市民公開セミナーで詳細を発表いたします。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／ <http://yonezawa-city-hospital.jp/>

※「ここが知りたい！米沢市立病院紹介」は、毎月1日号に掲載します（10回連載）。